

会 議 結 果

会議名	令和3年度 第6回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	令和4年3月24日(木) 午前9時30分～10時50分
場所	西尾市役所 22AB会議室(2階)
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員12名 事務局6名 欠席：西尾市民生委員児童委員協議会 柵木ちよ子委員、(公社)愛知県バス協会 小林裕之委員、愛知県タクシー協会 鈴木英治委員、愛知県西三河建設事務所西尾支所 渡辺雅司委員、中部運輸局愛知運輸支局 山内三奈委員
傍聴者	3名
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・配布資料確認 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21日で蔓延防止等重点措置が解除された。公共交通としては嬉しいこと。 ・議題にある公共交通計画の目標指標の中に、市の負担を現状維持と明記している。公共交通を維持していく強い意志の表れ。利用促進など活性化につなげていきたい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の半数以上の出席により会議成立 <p>2 議題</p> <p>(1) バス交通再編後のコミュニティバス・いこまいかーの利用状況について (報告事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により説明。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれも令和2年度4月に大きな再編。伸びている。下期の利用が安定して、いっちゃんバスは落ち込んだ時期もあったが、今後もこの調子で。いこまいかーも吉良・幡豆ですごい勢いで伸びている。 <p>(2) 六万石くるりんバス車両への有料広告の掲載について (報告事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2により説明。 <p>○潮田委員(大興タクシー株式会社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表記の掲載料は年額か。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年額である。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグネットが落下する心配はあるか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグネットは広告主が用意する。落下しない強度で作成するよう仕様で定めているため、基本的に落下の心配はないものと認識している。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内でもモニターを設置しているが、公共交通の情報や利用促進のための情報を流すなど活用

したい。

(3) 次期西尾市地域公共交通計画（案）のパブリックコメントの結果報告について（報告事項）

○事務局

- ・資料3により説明。

○松尾会長

- ・議会では質疑があったが、パブリックコメントがなかったことは少し残念。議会の質問についてはよい回答をしていただいたと思う。一人当たりの負担額は目安としてはいいが、数字が先走ってしまい、そんなに一人の人に使っているのかという議論になりがち。今利用している人だけでなく、急に車がつかえなくなりバスを使う人などもある。

(4) 次期西尾市地域公共交通計画（最終案）について（協議事項）

(6) 西尾市地域公共交通計画の事業の進捗について（報告事項）

○事務局

- ・資料4、6により説明。
- ・関連議題のため一括で説明。

○潮田委員（大興タクシー株式会社）

- ・すぐにはできないと思うが、53ページの目標設定について、一般タクシーの利用数もあっていいと思う。東浦町などは検討していただいている。令和4年度以降に事業としてやっていくときに評価指標として用いてはどうか。
- ・最近、碧南市や安城市で個人タクシー会社が廃業している状況がある。市民の足の確保のため、個人タクシーへの活用の仕方などを事業に折り込んでほしい。

○松尾会長

- ・来年度、現状把握を検討してもよいのではないか。
- ・いこまいかーの供給の面でも、年間どのくらいのタクシー利用があるのかは見ておいたほうが良いと思う。

○事務局

- ・目標指標に盛り込むことは難しいが、来年度以降の協議会において、タクシー会社から得た現状の数値などを報告したい。

○片桐委員（東伸運輸株式会社）

- ・63ページ、次世代交通システムに導入に向けた取り組みについて書かれているものの、あまり進展がないように見える。MaaSといえば、スマホで呼んで個々に運ぶイメージ。しかし、実態は路線バスなど昭和と変わらない。少人数で運べる取り組みを考えたほうが良いのでは。

○松尾会長

- ・地域によってモードは様々である。
- ・MaaSとはシステムの部分で、その下には交通モードが必要。いこまいかーのようなタクシー補助は先端的、ほかの市町ではあまりやれてこなかった。豊田の鞍ヶ池などで少しずつ進められているが、西尾市は上手くいっている。MaaSのためにモードを変えるのではなく、既存のモードをつなぐこともMaaSだと思う。県内でもいろんな取り組みがあるので、事務局でもヒアリングを進めるなどしてほしい。

○片桐委員（東伸運輸株式会社）

- ・西尾市が最先端である必要はないが、西尾市の取り組みに派手さがあってもいいと思う。

○松尾会長

- ・西尾市は県の実証実験の場にもなっているので、こういった記述もあると思う。

○事務局

- ・今年度は、佐久島でグリスロに近い実証実験が行われた。また、令和2年度に自動運転の実験もあった。最先端事業については、他市の状況を注視している。取り入れられるような取り組みについては取り入れていきたい。時代に遅れないようにしたい。

○森委員（西尾市観光協会）

- ・61ページの概要にレンタサイクルの記載があるが、老朽化が激しい。安全性にかける。どこがやるかはおいて、取り換えなどが必要となる。蒲郡線については蒲郡エリアにレンタサイクルはない。欠けたものになる。
- ・案内看板は設置がされているが、これだけでは訴えるものがないので、観光拠点となる写真なども設置したい。

○事務局

- ・蒲郡エリアでは、蒲郡駅と西浦・形原にレンタサイクルを設置している。名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会の取り組みで西浦駅・形原駅・西幡豆駅・東幡豆駅にレンタサイクルを合計40台設置している。利用は伸びていない。課題として取り組む。

○採決—原案可決（全員承認）

(5) 西尾市地域公共交通活性化協議会の委員の追加について（協議事項）

○事務局

- ・資料5により説明。

○採決—原案可決（全員承認）

(7) 西尾市地域公共交通計画および令和2年度地域公共交通公共交通確保維持改善事業費補助金における中部運輸局の二次評価について（報告事項）

○事務局

- ・資料7により説明。

○潮田委員（大興タクシー株式会社）

- ・西尾市は他市に乗り入れているコミュニティバスはあるか。

○事務局

- ・三和線、西野町線がそれぞれ岡崎市、碧南市へ乗り入れている。

○潮田委員（大興タクシー株式会社）

- ・他市では、他市に乗り入れるコミュニティバスの二次評価の報告があったが、西尾市はないのか。

○事務局

- ・西尾市のコミュニティバスは国庫補助を受けていないため、二次評価の対象ではない。

○小嶋代理（愛知県交通対策課）

- ・市町村を跨る系統については愛知県バス対策協議会が取りまとめている。県としては幹線系統の評価を共有してほしい。

○松尾会長

- ・幹線系統の評価については次回協議会で共有してほしい。

(8) 令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について（協議事項）

○事務局

- ・資料8により説明。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・②-1-2の見える化について。豊田市などはタクシー乗り場がマップに記載がなかったりす

る。作成の際にはタクシー乗り場や電話案内の記載をしてほしい。

○事務局

- ・以前、名鉄東部交通から意見をいただき、公共交通時刻表に西尾駅の東西のタクシー乗り場を記載している。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・マップということなので、商業施設のタクシー乗り場なども用意しているので記載してほしい。

○松尾会長

- ・数がどのくらいあるかはわからないが、可能な範囲で対応を。
- ・バスマップの案は協議会で出てくるか。

○事務局

- ・協議会の場で案を出す。

○古田委員（名鉄東部交通労働組合）

- ・②-1-1のキャッシュレス化の推進について。マナカなどの交通系ICの導入はないか。名鉄東部交通バスは東岡崎駅まで伸びているのでお客様からよく聞かれる。

○事務局

- ・ここに記載しているのはコミュニティバスに関するものであり、すでに導入しているものを継続、推進していく。
- ・その他の公共交通機関については各運行会社において対応するものと考えている。

○松尾会長

- ・短期的な来年度事業としては交通ICの導入は予定してないが、将来的に全く視野に入っていないということではないと思う。

○潮田委員（大興タクシー株式会社）

- ・委員追加の議案があったが、来年度予算の委員報酬が減っているのはなぜか。

○事務局

- ・追加の委員は市職員のため報酬はない。
- ・今年度は計画策定による協議会の開催回数が多く、来年度は減らしたため。

○松尾会長

- ・のりつき券発行機のため予算額が多いのは積極的な投資なのでよい。
- ・国の補助金を利用する予定はあるか。

○事務局

- ・申請していく予定。

○松尾会長

- ・現在のところは補助金が下りるか未定のため、全額計上しているということだと思う。

○事務局

- ・国庫補助申請は事業者から申請することになると聞いている。各社と調整を行う。

○松尾会長

- ・のりつき券も数が多くなると運転手が大変だと思う。コミュニティバスでこういった機器の導入は珍しいと思う。
- ・ネーミングライツパートナー制度について、自治体によってはそのままスーパーの名前を入れているところもあり、地域の人にはわかりやすい。ただしお金をもらわないと名前が入れることができなくなるため敬遠される懸念がある。

○事務局

- ・再編後のためすぐに変えることは難しい。収入を得ていこうという取り組み。

○潮田委員（大興タクシー株式会社）

- ・アピタなど敷地内にあるバス停に関しては今現在お金をもらっているのか。

○事務局

- ・六万石くるりんバスではない。いっちゃんバスについては企業名そのものがバス停になっているがもらってない。バス停の敷地代も払っていない。

○潮田委員（大興タクシー株式会社）

- ・今までは発生していないが、これからは発生すると、差が発生するのはどういうことになっているのかと思った。

○松尾会長

- ・とりあえずやってみるということ。検討していく必要がある。

3 その他

- ・今年度の委員報酬については3月31日までに支払う。
- ・来年度の協議会は5月下旬を予定している。

4 閉会

- ・10時50分終了。

以上